

# Information 12

寒い冬になると多い…尿トラブルについてのお話。

泌尿器疾患は数多くあり、尿石症・尿路結石症・腎臓病などがあります。

その中でも**尿道閉塞**は数多く、場合によっては**死に至る病気**です。

特に**オス猫**に多い！

尿道がS字状にカーブしているのと直径が約0.5mmとメスの半分の細さから膀胱内の上皮細胞や結石になる前の結晶などがつまり閉塞…

大半の結晶は、ストラバイトやシュウ酸カルシウム。治療しなければ結石に…

## ストラバイト

食事療法で**溶かすことが出来る**

細菌感染が原因の1つ

アルカリ尿で出やすいので pH6.5～

## シュウ酸カルシウム

**溶かすことができない**

結石が出来た場合は、手術が必要

高濃度、酸性尿で出やすい pH5～5.5

尿の pH バランスも大切で、通常は**弱酸性**(pH6 辺り)

## 《主な症状》

### ～軽度～

頻尿・血尿・少量の尿しか出てない  
陰茎周囲を舐める・排尿時に鳴く  
尿がキラキラしてる・ニオイが強い

### ～中度～

尿が出ない  
食欲不振・嘔吐  
低体温・脱水

### ～重度～

重度脱水・不整脈・血圧低下・虚脱・ショック

1日尿が出ないと腎不全・尿毒症に発展し重篤な状態に陥ります。

**嘔吐の症状**が出ると、かなり**危険なサイン**です!!

## 原因は？

※：冬に診られる代表的な原因

✓トイレを我慢する

✓ストレス

✓細菌感染

✓食事バランス

✳️ 飲水量の低下

✳️ 活動性（遊び）の減少

✓体質

✓肥満



トイレの清潔さや悪天候による我慢、ナイーブな子は来客で我慢したり衛生面で毛繕いの際も肛門との距離も近いことなど多く上げられます。

また**冬**は、寒さから運動量の低下と喉も渴かなくなり飲水量が減ります。

尿が濃くなり膀胱内に長時間溜まることで結石・結晶尿・感染の原因に…

## 予防&対策の3箇条

### ① 定期的な尿検査

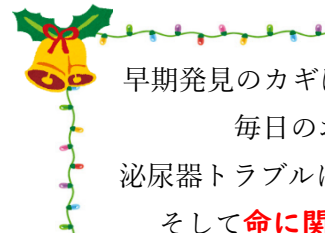
毎月日にちを決めて、尿だけ持ってきていただくでも OK!!

### ② 飲水量 UP

新鮮なお水を様々なお皿や場所(カーテン裏など)に設置してあげましょう。  
そしてよく遊び、運動を心がける

### ③ 清潔第一

トイレは、いつもキレイに！猫さんは、飼っている頭数+1 設置。



早期発見のカギは…**尿の色や量・ニオイの変化!!**

毎日のお世話や観察が大切です！

泌尿器トラブルは、動物達にとって**ストレス**です。

そして**命に関わる病気**もたくさんあります。

様子見はせず、ご相談ください。

